

広域ごみ処理施設整備・運営事業の概要について



令和8年(2026年)5月23日
西尾市 環境部環境業務課

※完成予想図であり、設計協議により変更する可能性があります

目次①

1. 事業概要
2. 事業実施体制
3. 契約主体者
4. 灰運搬・資源化業務
5. 事業スケジュール
6. 収集運搬について
7. 施設全体配置
8. 工場棟各階平面図
9. 管理棟各階平面図
10. プラント機能（ごみ焼却）
11. // （エネルギー回収）
12. // （有害物質の発生抑制と高効率除去）

目次②

- 1 3. 環境基準（煙突排ガス濃度）
- 1 4. // （水質）
- 1 5. // （騒音・振動・悪臭）
- 1 6. 地震対策
- 1 7. 浸水対策
- 1 8. ごみピット火災対策
- 1 9. 環境学習機能（1）
- 2 0. // （2）
- 2 1. 指定避難所としての機能

1. 事業概要

①発注者	西尾市
②事業名称	広域ごみ処理施設整備・運営事業
③事業方式	DBO方式（公設民営方式）
④建設地	西尾市吉良町岡山大岩山65
⑤施設概要	<ul style="list-style-type: none">○ 処理方式：ストーカ式焼却方式○ 施設規模：266 t/日（133 t/24h × 2炉）○ 西尾市、岡崎市、幸田町の一般廃棄物の焼却処理施設○ 処理対象物：可燃ごみ、可燃粗大ごみ、破砕選別可燃残渣、浄化槽汚泥、災害廃棄物○ 煙突高さ：59m○ エネルギー回収率：最大31.6%
⑥事業期間	<p>【設計・建設】 令和7年（2025年）12月～令和12年（2030年）6月（4年7ヵ月）</p> <p>【運 営】 令和12年（2030年）7月～令和32年（2050年）3月（19年9ヵ月）</p>

2. 事業実施体制

		会社名	役割
代表企業		J F Eエンジニアリング株式会社	代表企業として建設工事及び 運営業務まで事業全体を統括
構成企業	建設工事	日本国土開発株式会社 徳倉建設株式会社 山旺建設株式会社 まるひ建設株式会社	土木建築工事
	運営業務	J F E 環境サービス株式会社	焼却プラント運転業務
		株式会社油研 大徳運輸株式会社 株式会社ジェイテックシステム 株式会社東亜環境コーポレーション 大川運輸株式会社	灰運搬業務
	新日本電工株式会社 中部リサイクル株式会社 渡辺産業株式会社 メルテック株式会社	灰資源化業務	

3. 契約主体者

■ 建設工事

契約者 **J F E エンジ・日本国土・徳倉・山旺・まるひ特定建設工事共同企業体**

	会社名	役割
JV構成員	・ J F E エンジニアリング株式会社 名古屋支店	・焼却プラントの設計及び施工 ・土木建築工事の設計
	・日本国土開発株式会社 名古屋支店 ・徳倉建設株式会社 西尾営業所 ・山旺建設株式会社 ・まるひ建設株式会社	・土木建築工事の施工

■ 運營業務

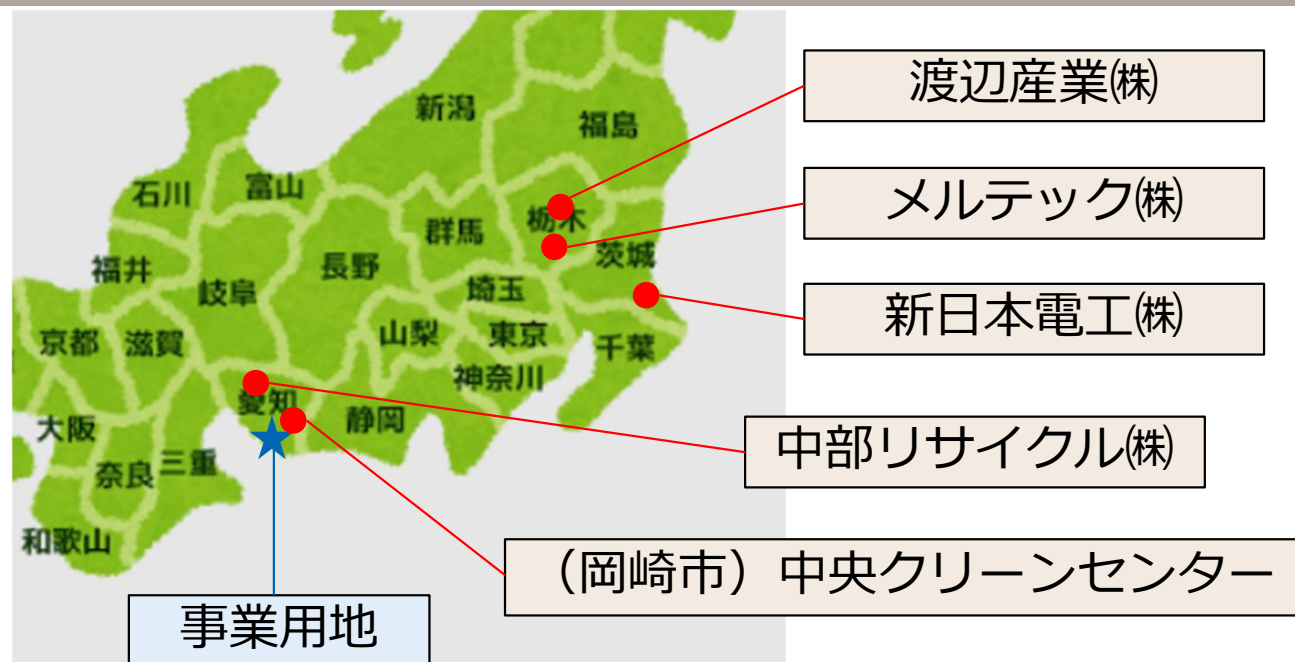
契約者 **J F E エンジニアリング株式会社 名古屋支店**

	会社名	役割
運営関連企業	・ J F E エンジニアリング株式会社 名古屋支店	・運營業務全体の管理 ・メンテナンス、用役調達
	・ J F E 環境サービス株式会社	・JFEエンジニアリングのもと 焼却プラント運転業務を担当

4. 灰運搬・資源化業務

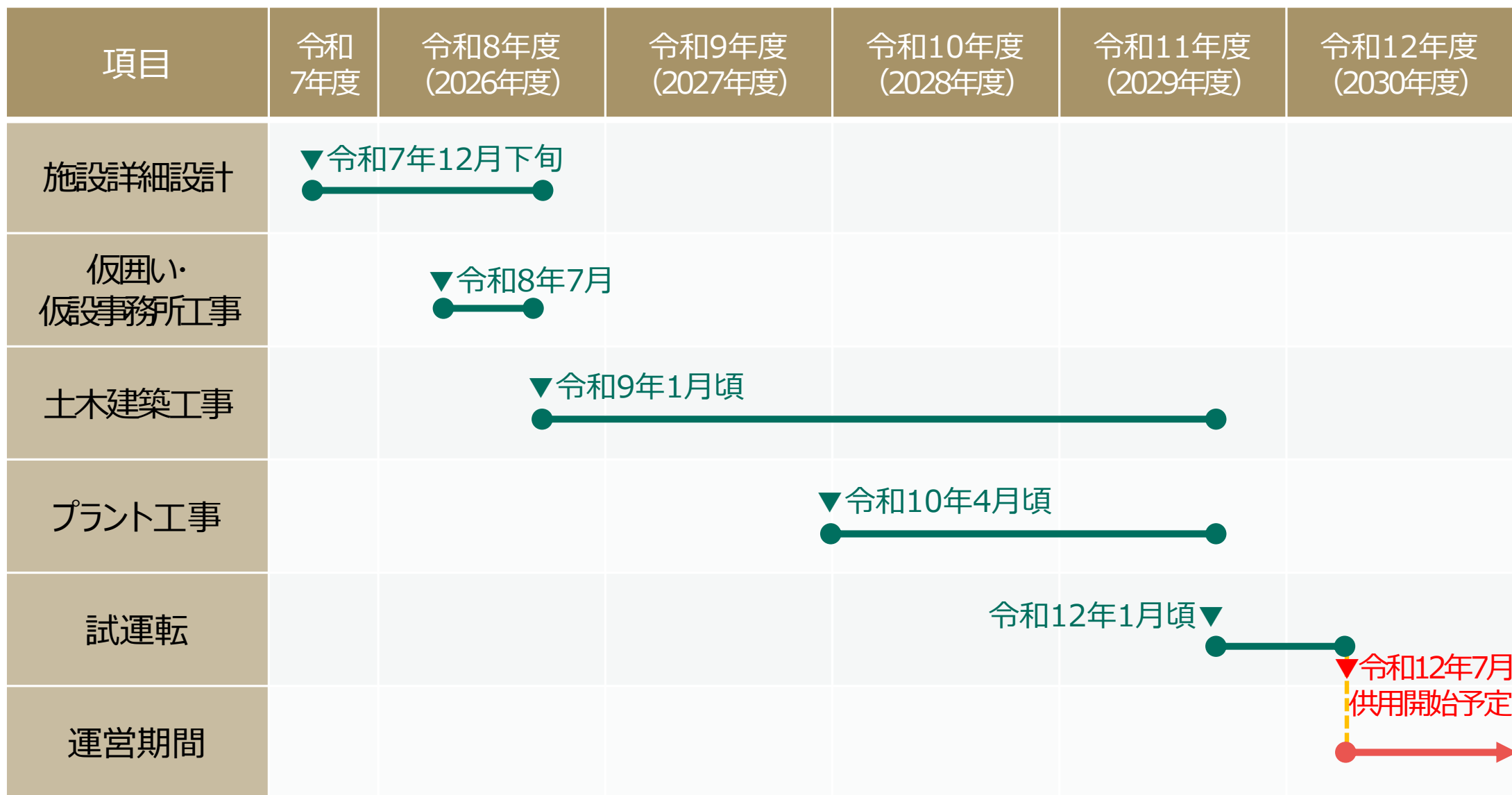
【運搬企業が各地へ輸送】

- ・ (株)油研
- ・ 大徳運輸(株)
- ・ (株)ジェイテックシステム
- ・ (株)東亜環境コーポレーション
- ・ 大川運輸(株)

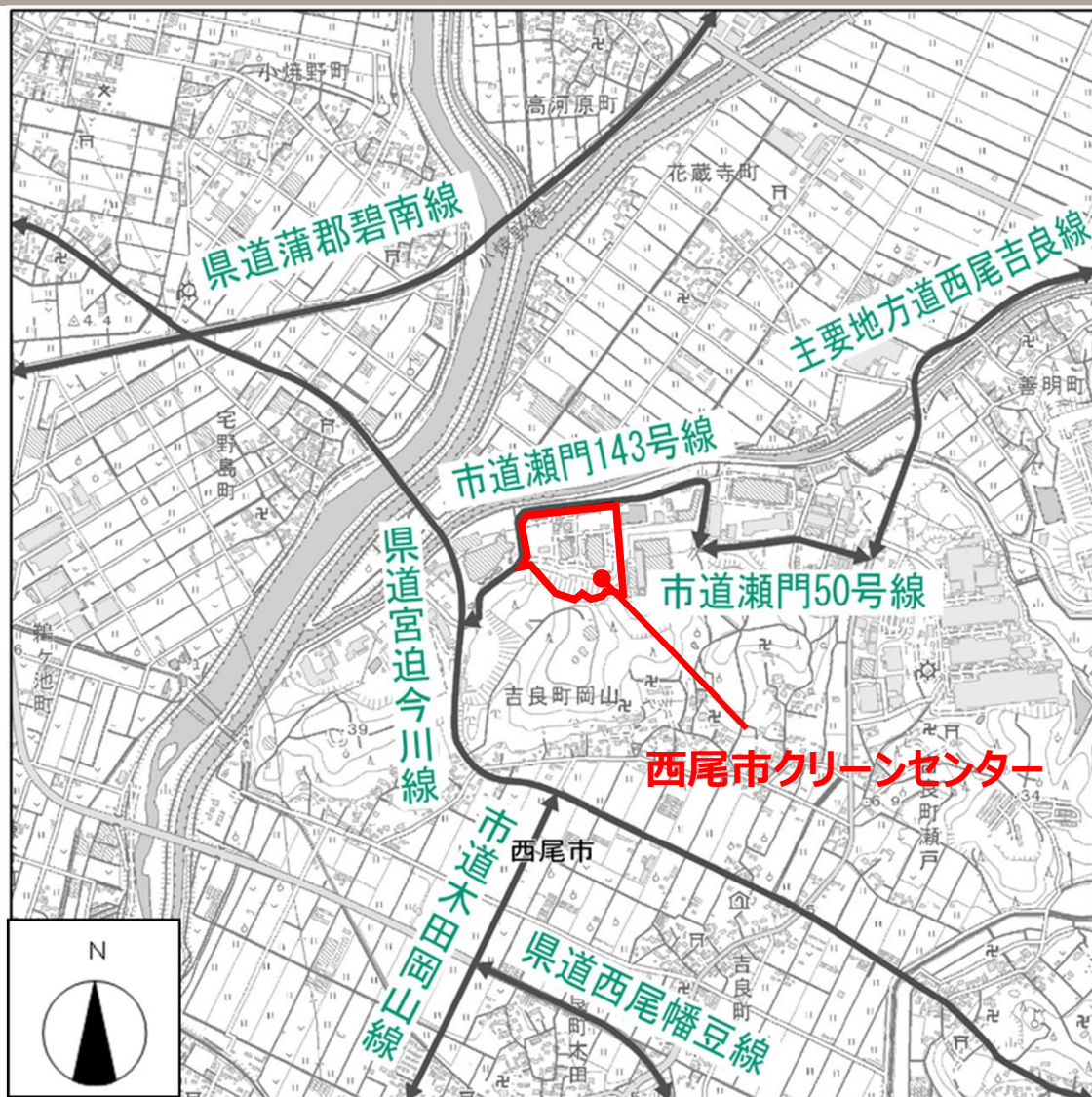


資源化先	岡崎市中央CC	新日本電工	中部リサイクル	メルテック	渡辺産業
資源化方法	溶融				薬剤固化
資源化物					
利用用途	土木資材、コンクリート2次製品		土木資材		

5. 事業スケジュール



6. 収集運搬について



主な搬入・搬出ルート

収集区域

西尾市の全域
岡崎市及び幸田町の一部

車両台数

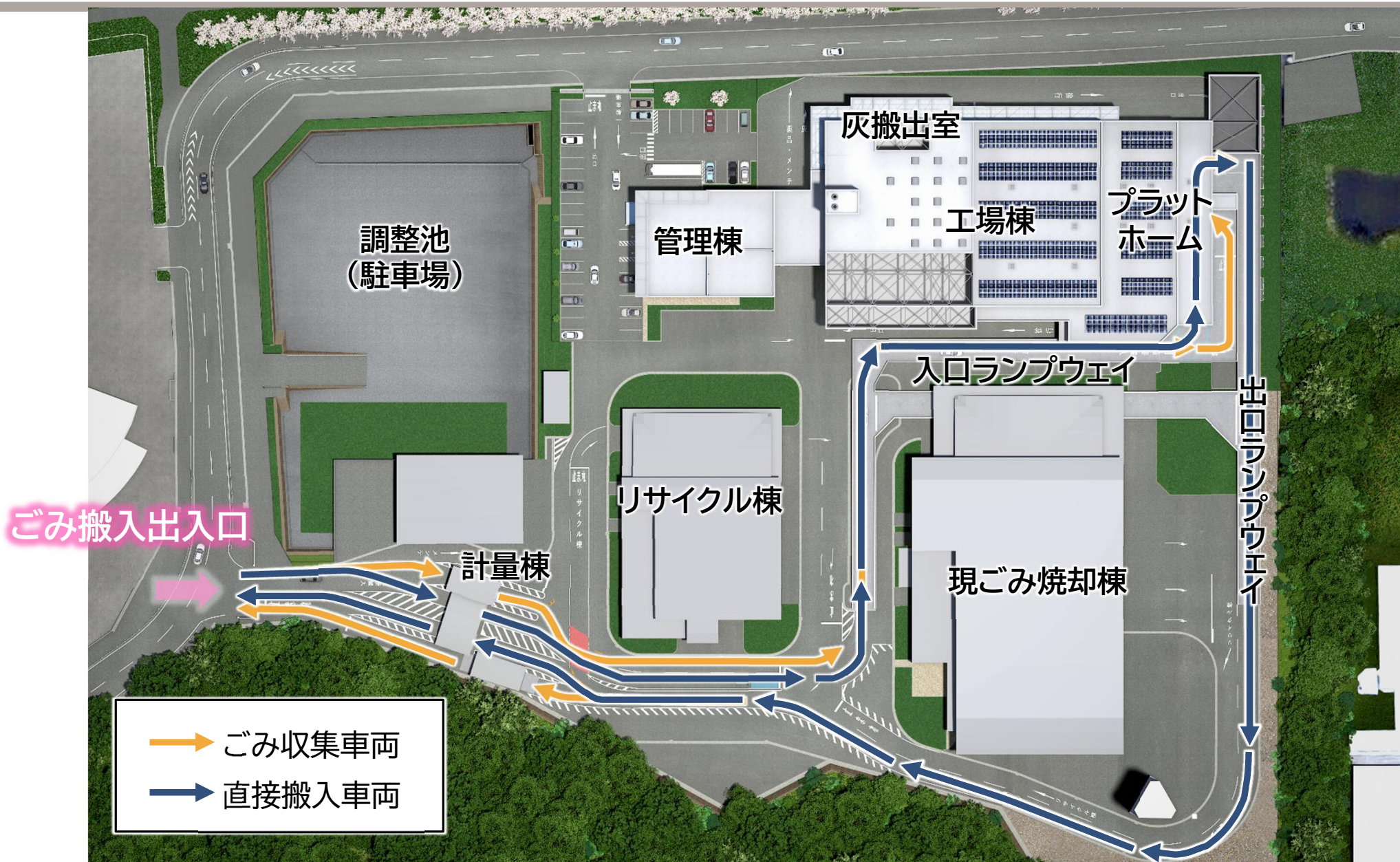
岡崎市・幸田町からの搬入車両は、
ごみ収集車両のみ受入れ

項目	台/日		
	西尾市	新たに増加	
		岡崎市	幸田町
ごみ収集等の 関係車両	約560	約39	約7

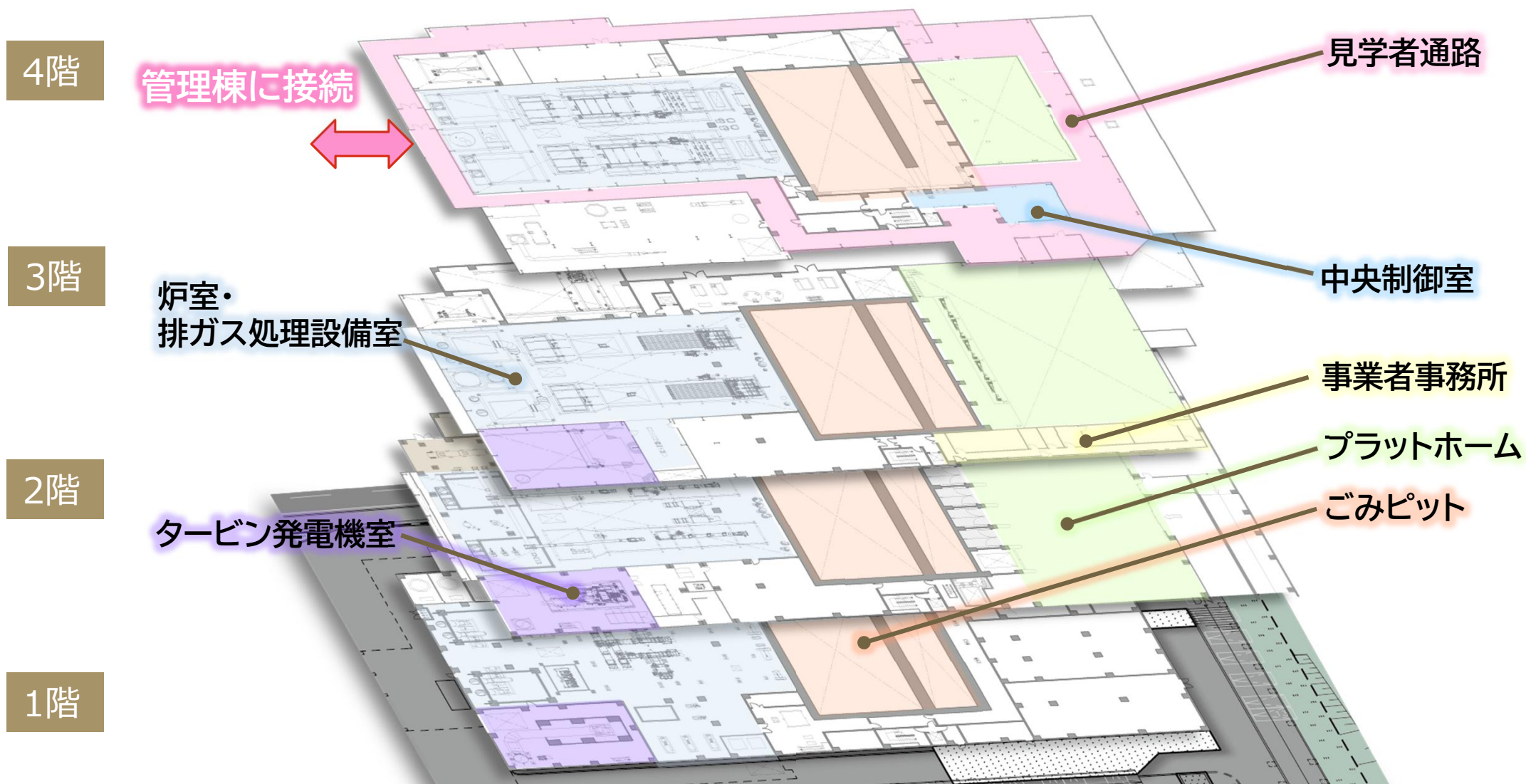
受入計画

月～金 8:30～16:00
土 8:30～11:30

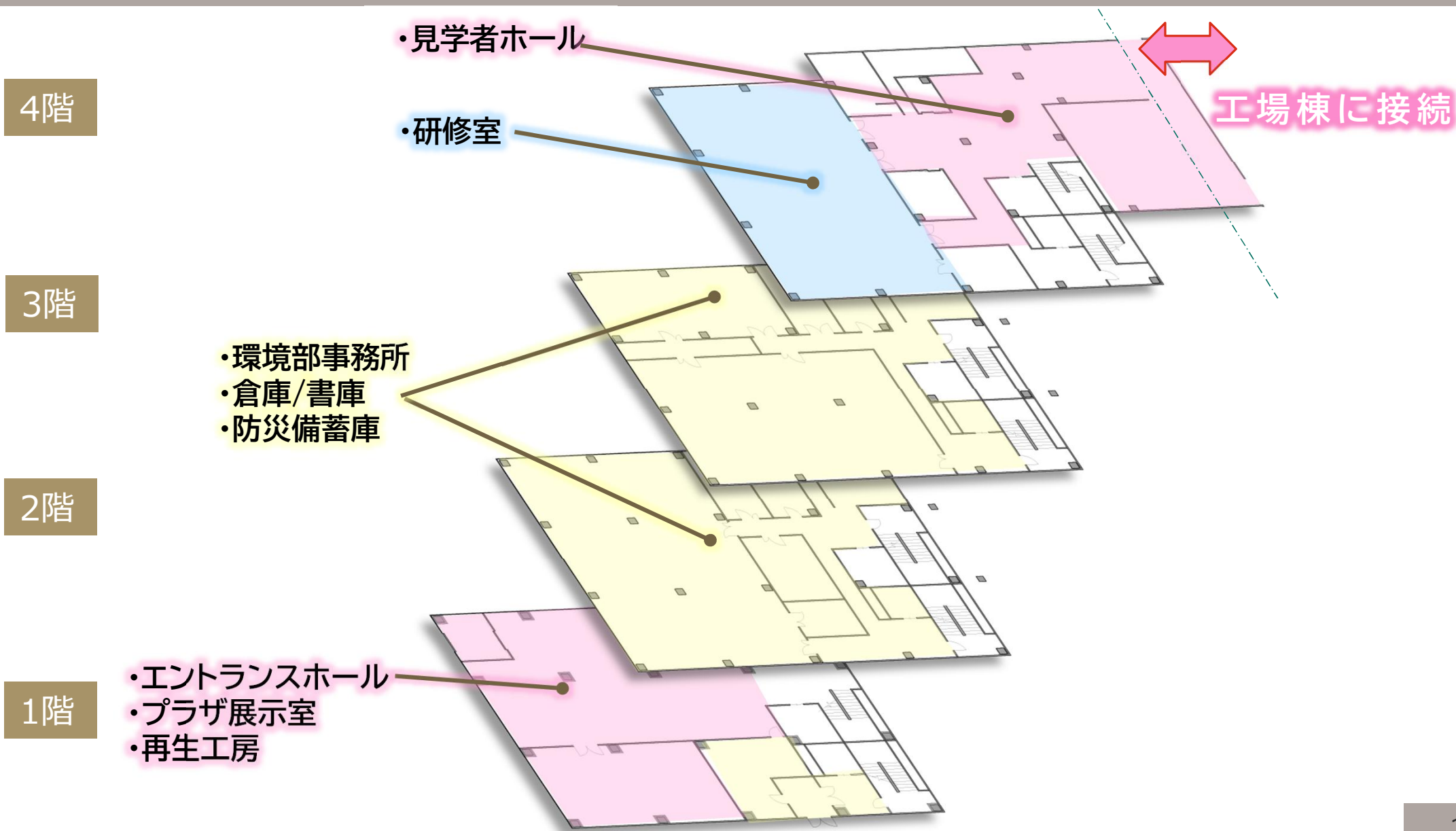
7. 施設全体配置



8. 工場棟各階平面図

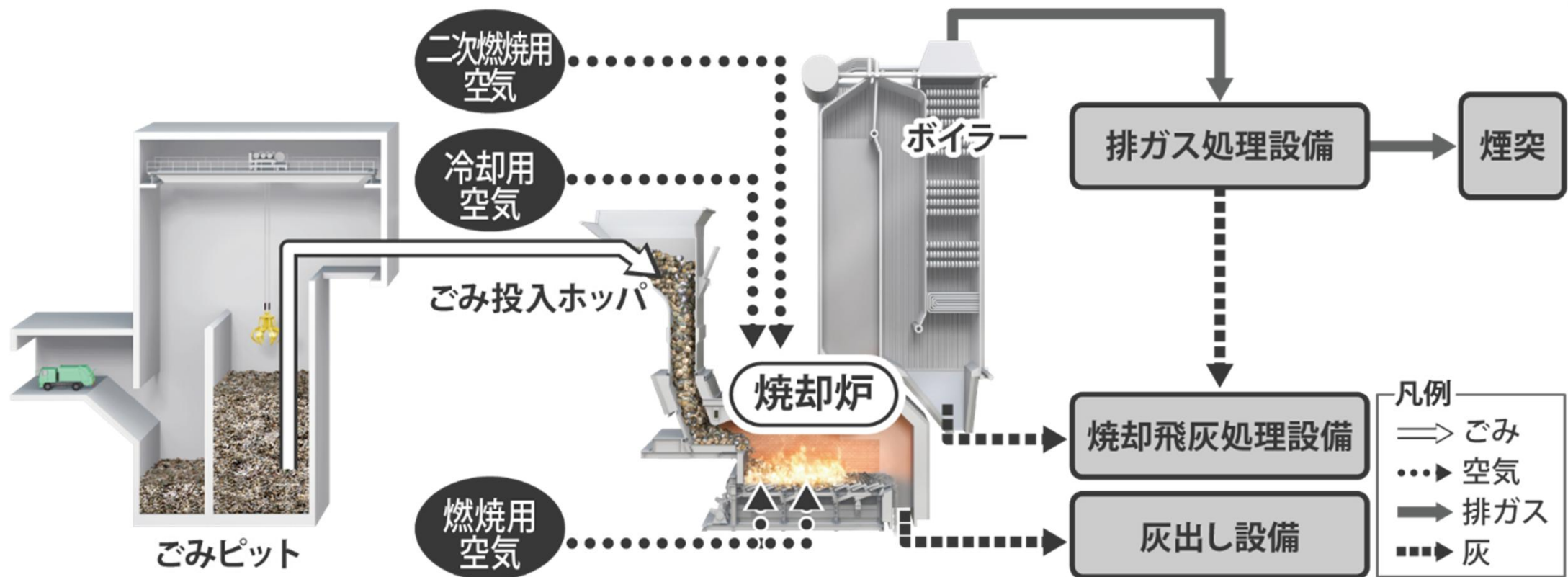


9. 管理棟各階平面図



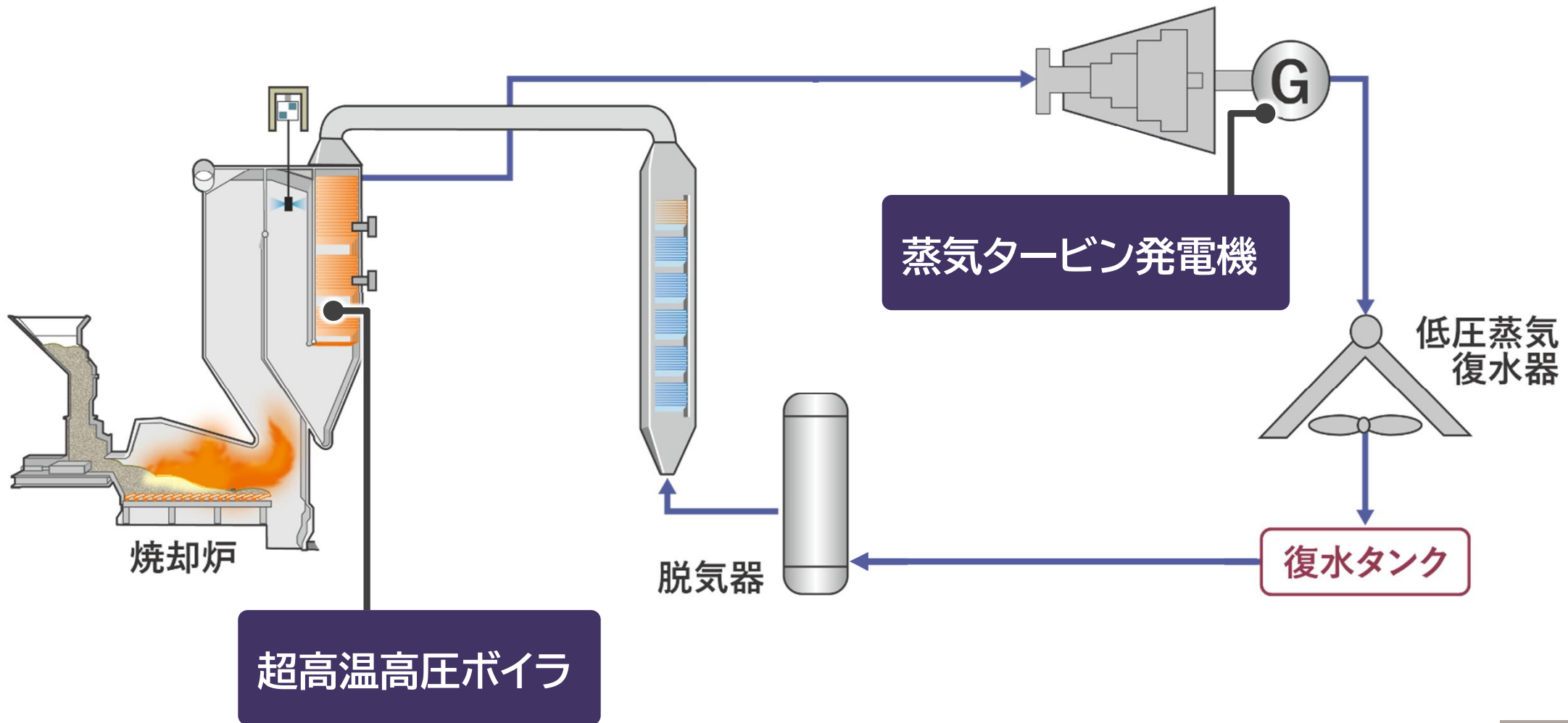
10. プラント機能 (ごみ焼却)

▶ピットで一時貯留したごみは、焼却炉で完全燃焼、灰として搬出



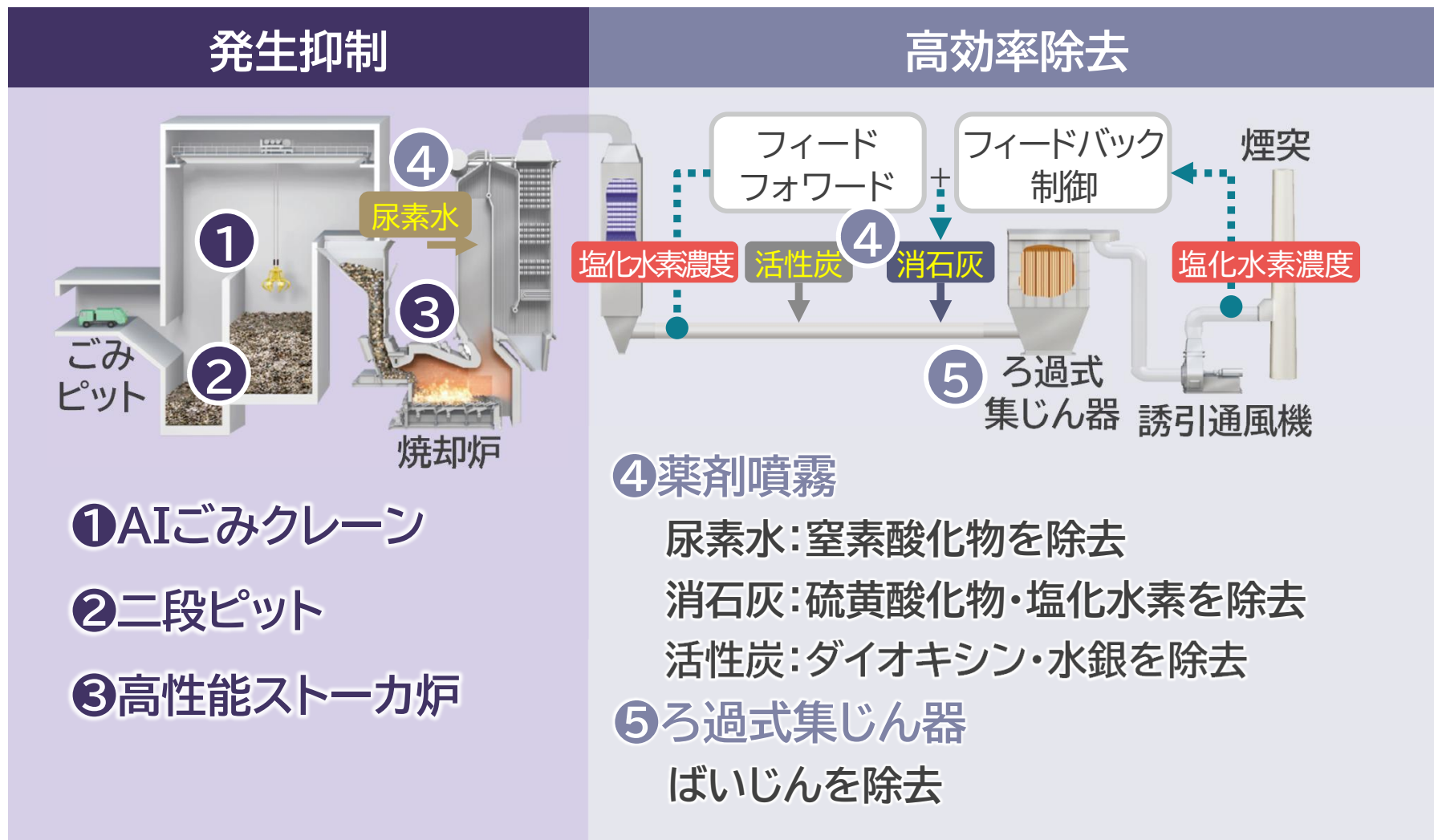
1 1. プラント機能 (エネルギー回収)

▶国内トップクラスの超高温高压ボイラを採用、エネルギーを回収して発電



1 2. プラント機能（有害物質の発生抑制と高効率除去）

▶2段階のシステムで確実に排ガス基準値を遵守



1 3. 環境基準（煙突排ガス濃度）

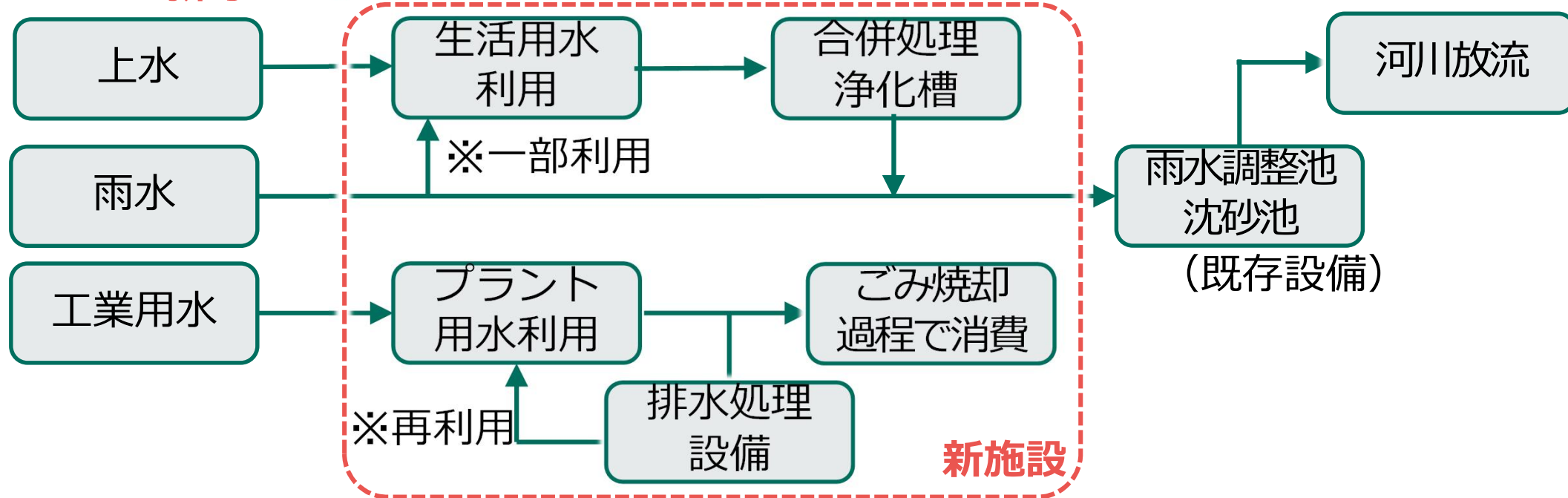
▶**確実に停止基準値を遵守**

項目	ばいじん [g/m ³ N]	硫黄酸化物 [ppm]	塩化水素 [ppm]	窒素酸化物 [ppm]	ダイオキシン類 [ng-TEQ/m ³ N]	水銀 [μg/m ³ N]
法定基準値	0.04	2,340 K値17.5	430	250	0.1	30
自主停止基準値	0.006	30	30	50	0.06	30
運転基準値	0.003	24	24	40	0.06 ※	20

※バッチ計測
(試料を採取し、研究所等で分析する手法)

14. 環境基準（水質）

▶ プラント排水クローズドシステムにより基準値を遵守



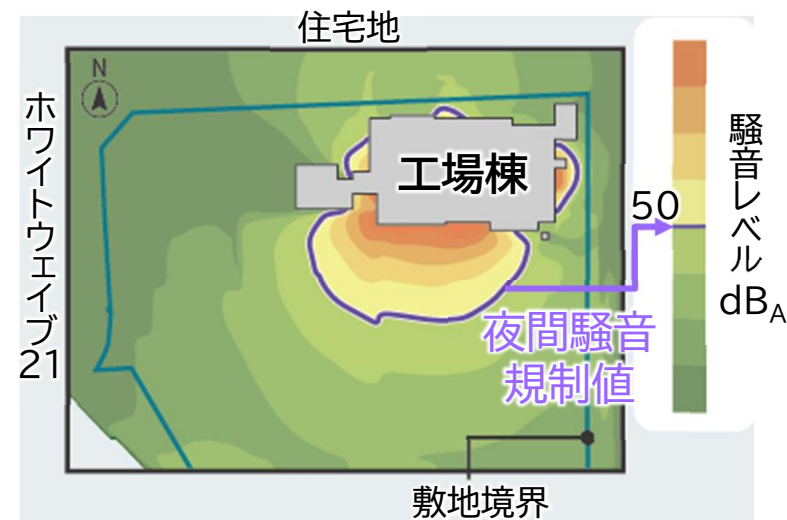
項目	BOD [mg/L]	COD [mg/L]	SS [mg/L]	川水質 抽出物質含有量		フェノール類 含有量 [mg/L]	銅 含有量 [mg/L]
				鉱油類 [mg/L]	動植物油脂類 [mg/L]		
排水基準	25	25	30	2	10	0.5	1
市上乗せ基準※	30	30	30	—	—	—	—

※一日あたり排水量10m³以上20m³未満の場合

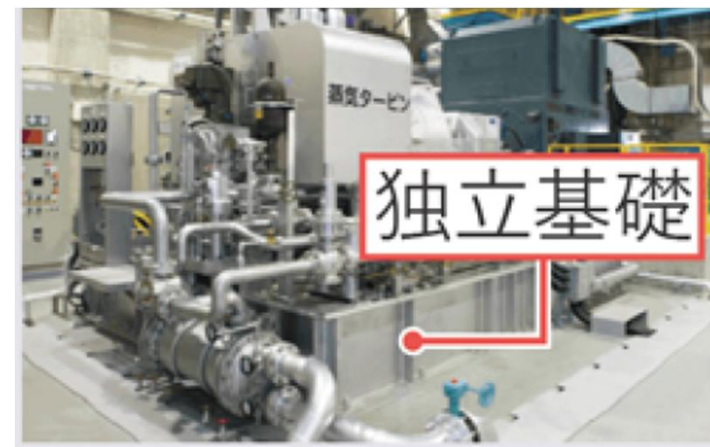
15. 環境基準（騒音・振動・悪臭）

▶敷地境界における騒音・振動・悪臭の法規制値を遵守

項目	騒音 [dB _A]	振動 [dB _A]	悪臭 [臭気指数]
昼間	60 (8時～19時)	65 (7時～20時)	18
朝・夕 (6時～8時) (19時～22時)	55	—	
夜間 (22時～6時)	50	60 (20時～7時)	



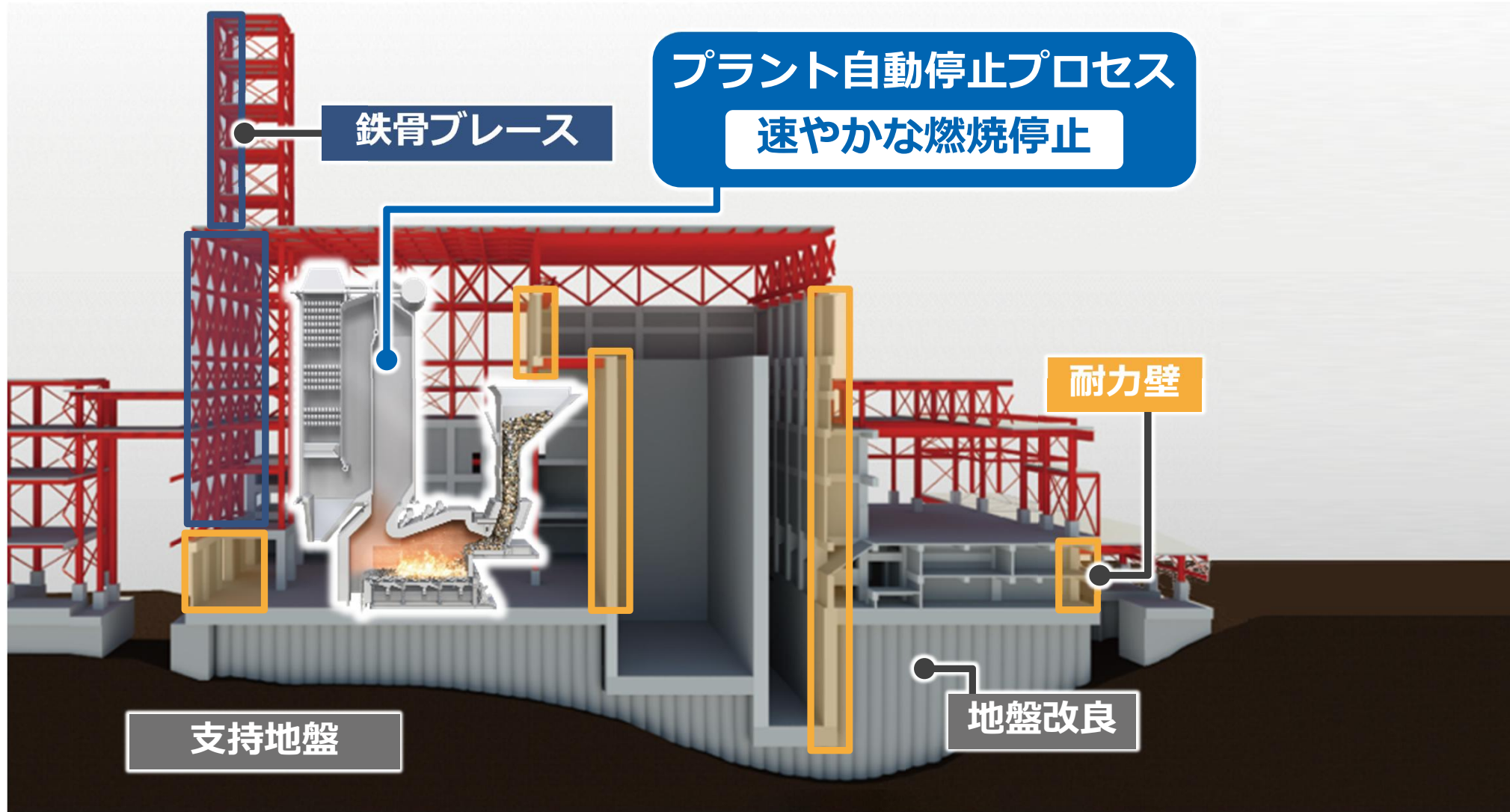
【騒音予測シミュレーション】



【振動防止技術例】

16. 地震対策

▶強靱な構造により施設の安全を確保



17. 浸水対策

▶重要諸室を2階以上に配置し、浸水に対して施設機能を維持

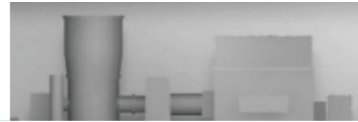
環境部事務室・会議室

タービン発電機室・電気諸室

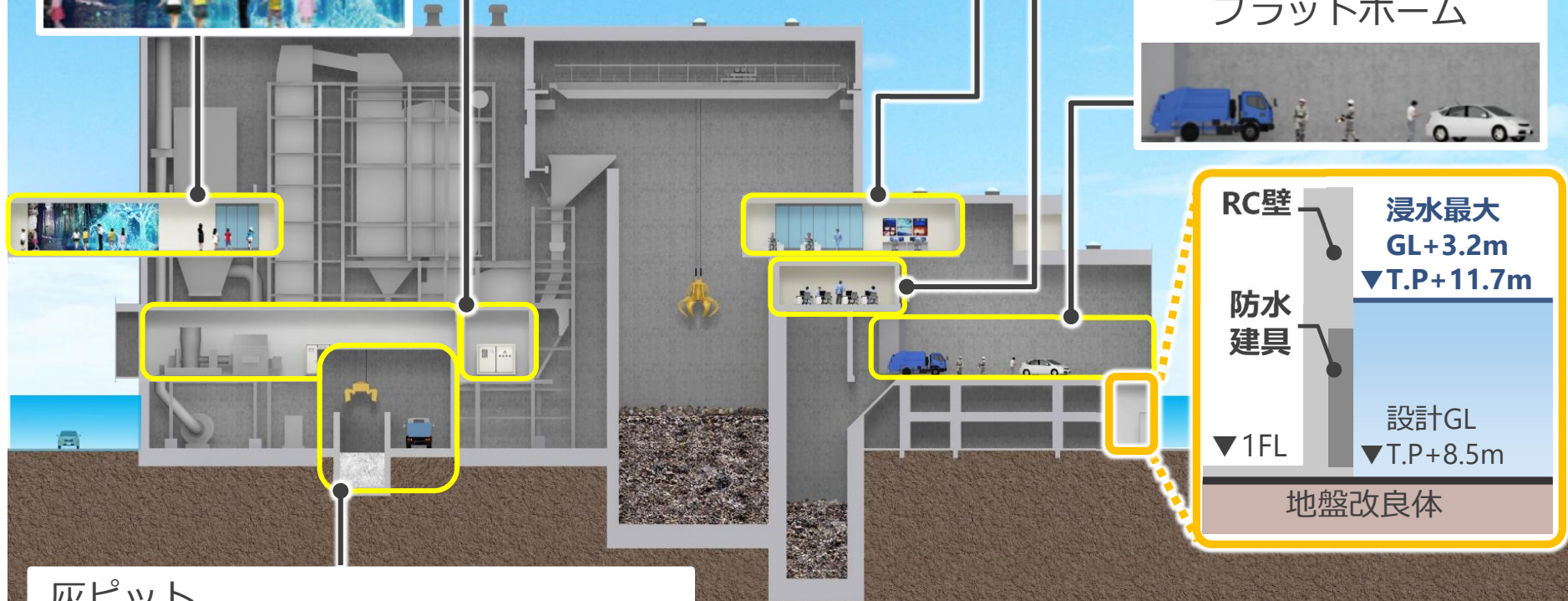
中央制御室

事業者事務室

見学者設備

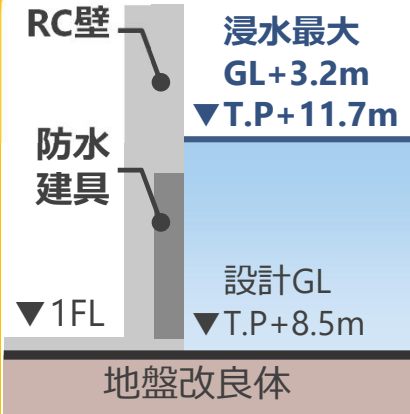


プラットホーム



灰ピット

・3mのピット壁により浸水と灰流出を防止



18. ごみピット火災対策

▶3段階の対策でごみピット火災による延焼を確実に防止



・従来技術では、ごみ表面の火炎を検知していましたが、AI煙検知では、ごみ内部から表面にあがる煙を検知するため、従来より早期に火災を検知します

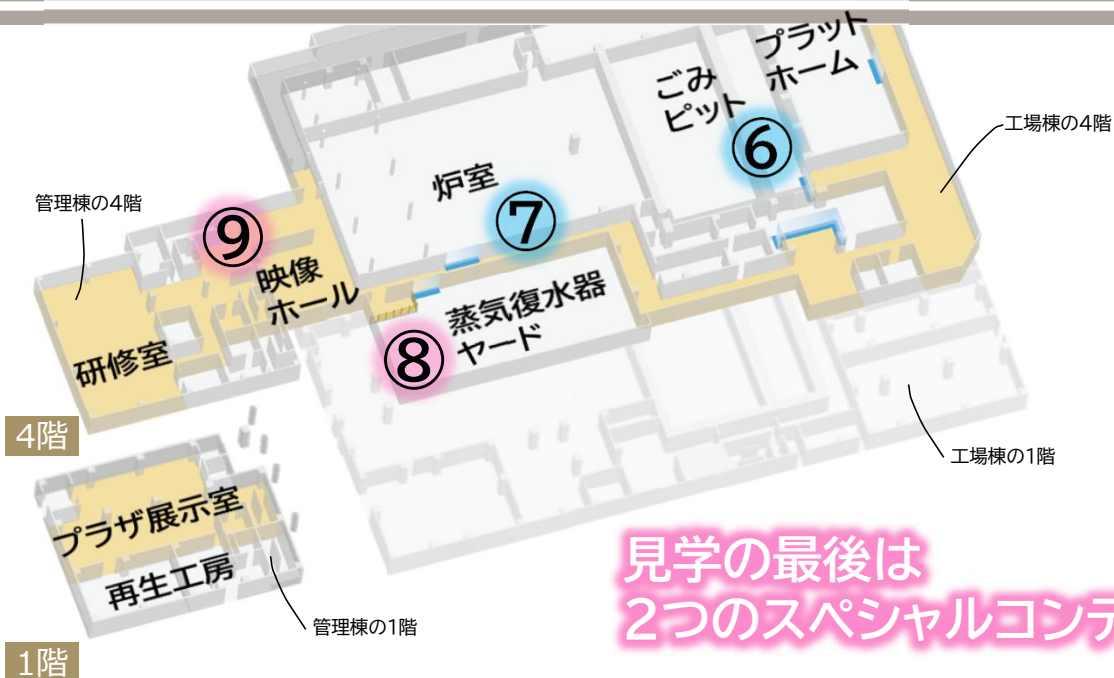
19. 環境学習機能 (1)



プラットホームの見学と、2市1町のごみに関する数字のクイズ



20. 環境学習機能 (2)



見学の最後は
2つのスペシャルコンテンツ



⑧蒸気復水器ヤード

実際に、超大型ファンの下に立ち、
風・音・大きさを体感し、ファンの役割を学習



⑥ごみピット見学

実物大バケットのイラスト

実物を望む窓

ごみピット断面図



⑦炉室

焼却・排ガス・灰処理・発電
をパネルやクイズで学習



⑨映像ホール

ZERO WASTEをテーマとした映像ショー

おわりに

環境基準を遵守し、
安心・安全で親しまれる施設とするよう、
本事業を実施いたします。
ご理解・ご協力のほど、
よろしくお願いいたします。

